

款	農林水産業費	項	農業費			
事業名	そばまつり事業					
施 策 の 大 綱	2-3 産業の振興を図り、活力とにぎわいのあるまちづくり					
施 策 名	4 安全な食料を供給する農林水産業の振興					
施 策 の 内 容	5 特産物の生産振興					
H27決算額	1,679千円	財源内訳	国県支出金	地方債	その他	一般財源
						1,679千円

【事業の概要】

新治地区は、常陸秋そばの生産が盛んな地域であり、そばの品評会においても表彰を受けるなど、高品質なそばの産地となっています。

この土浦産常陸秋そばを広く市内外にPRし、消費拡大と地域振興を図るため「土浦そばまつり」を開催しました。

○平成27年度「第3回土浦そばまつり」開催結果

- ・開催日時 平成27年10月24日(土)・25日(日)
午前10時～午後3時 (土浦市産業祭と同時開催)
第3回目で初の2日間(土・日)開催
- ・開催場所 うらら広場
- ・開催実績 来場者数 2日間合計 約3,000人
出店数及び販売実績
そば提供出店 5店舗 2,807食
そば関連店舗等 3店舗 990個
- ・その他 市民ラウンジの活用
そばまつりの飲食用テーブル、イスを配置
同時に土浦市産の花々の紹介、展示、販売



会場のにぎわい うらら広場（東側）



そば打ち実演



市民ラウンジの様子



土浦の花々も同時に展示

【事業の成果】

「土浦そばまつり」には2日間合計で3,000人規模の来場者があり、土浦産「常陸秋そば」の認知度を高めることができました。

また、「土浦市産業祭」と同日に開催したことで、相乗効果によりまちのにぎわいに寄与することができました。

款	農林水産業費	項	農業費				
事業名	農産物地域特産化推進事業						
施 策 の 大 綱	2-3 産業の振興を図り、活力とにぎわいのあるまちづくり						
施 策 名	4 安全な食料を供給する農林水産業の振興						
施 策 の 内 容	5 特産物の生産振興						
H27決算額	45千円	財源内訳	国県支出金	地方債	その他	一般財源 45千円	

【事業の概要】

筑波山麓から霞ヶ浦にかけて水と緑に恵まれた環境を生かし、市内で育まれた農産物について、生産者の創意工夫を基に、地域ブランドとして付加価値を高め、市外の農産物との差別化を図ることにより、効率的かつ安定的な農業経営の強化と消費者の信頼の向上を図ります。

- ・平成27年6月1日(月) 土浦市農産物ブランド化推進協議会の開催
- ・ブランド農産物認証等の手続方針の検討
- ・ブランド農産物の展開方針の検討

「土浦ブランド農産物」のビジョン：

土と水の豊かな土浦でとれた農産物をみんなで食べる、
生産者と消費者が共によろこび、笑顔になる。
その結果認知が上がっていく。
そして、元気がでる、誇れる農業になっていく。
それを聞くのが夢。

農産物ブランド化のイメージ図



【事業の成果】

ブランド農産物のシンボルデザインの展開方法について協議を行いました。また、顧客とのコミュニケーション方法等の検討を行いました。

款	農林水産業費	項	農業費				
事業名	田んぼアート事業						
施 策 の 大 綱	2－3 産業の振興を図り，活力とにぎわいのあるまちづくり						
施 策 名	4 安全な食料を供給する農林水産業の振興						
施 策 の 内 容	6 都市と農村の交流						
H27決算額	1,500千円	財源内訳	国県支出金	地方債	その他	一般財源 1,500千円	

【事業の概要】

自然豊かな農村の水田に、白・赤・黄・黒・緑の発色の異なる5品種の稲を、都市住民と地元住民が協働して植え付け、絵を制作する「田んぼアート」を実施することにより、都市住民の農業への理解を深めるとともに都市と農村の交流を推進します。

また、「田んぼアート」は、小町の里周辺の観光資源として活用し、地域の農業の活性化を図ります。

○平成27年度実績

- ・デザインの一般公募 11点の応募
5月 7日(木) 土浦市新治地区都市と農村の交流事業推進協議会にて選考
- ・田植え体験会 6月13日(土) 参加者 82人
- ・観賞用やぐら設置 7月11日(土)
- ・観賞会 8月22日(土) 来場者 約400人
- ・稲刈り体験会 10月10日(土) 参加者 69人
- ・小町ふれあいまつり 11月21日(土) 約100名に田んぼアートで収穫したコシヒカリを配布



田植え体験会



田んぼアート観賞



観賞会おもてなしテント設置



稲刈り体験会

【事業の成果】

2回目となる平成27年度は、デザインを一般公募し、田植え開始前から話題性を高めることができました。また、より高い視点から鑑賞できるようにやぐらを平成26年度より高く設置し、来場者からは、おおむね好評を得ました。 □

田植えや稲刈りなどの農作業の体験会を通じて、都市と農村の交流を図ることができ、また来場者は「田んぼアート」に寄せる関心や期待が大きく、観光資源として小町の館周辺の観光に寄与することができました。

款	農林水産業費	項	農業費																																
事業名	担い手確保及び農地集積化事業																																		
施 策 の 大 綱	2－3 産業の振興を図り、活力とにぎわいのあるまちづくり																																		
施 策 名	4 安全な食料を供給する農林水産業の振興																																		
施 策 の 内 容	5 特産物の生産振興																																		
H27決算額	13,742千円	財源内訳	国県支出金 13,514千円	地方債	その他	一般財源 228千円																													
【事業の概要】 農業者の高齢化や後継者不足などによる農地の荒廃化などの課題の解決に向け、地域の農業の中心となる経営体の確保と農地の有効活用を図るため作成した「人・農地プラン」について見直しを行いました。そして、新たに就農し、プランに掲載された農業者には「青年就農給付金」を活用し、経営の安定化を図りました。□ また、「農地中間管理制度」を活用し、農地を効率的に活用できるよう担い手への農地の集積を図りました。 ○事業全体の支出内訳 ・ 機構集積協力金 8,088千円 ・ 青年就農給付金 5,250千円 ・ 事務費 404千円 計13,742千円 ○農地中間管理制度による農地の集積化 (単位：a, %) <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th></th> <th>A地域内の農地面積</th> <th>B機構による貸付面積</th> <th>貸付率 (B/A)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">地区名</td> <td>常名</td> <td>7,100</td> <td>2,313</td> <td>32.6</td> </tr> <tr> <td>藤沢新田</td> <td>2,100</td> <td>563</td> <td>26.8</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">その他</td> <td>経営転換面積</td> <td>－</td> <td>162</td> <td>－</td> </tr> <tr> <td>借受農地の隣接地等</td> <td>－</td> <td>668</td> <td>－</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>農地集積面積</td> <td>3,706</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> ○青年就農給付金給付実績 ・ 半期分 750千円×5名 =3,750千円 ・ 全期分 1,500千円×1名 =1,500千円 計5,250千円 【事業の成果】 常名地区及び藤沢新田地区において、農地中間管理事業を活用した地域の担い手への農地の集積を行うことができました。 また、就農して間もない若手農業者に青年就農給付金制度を活用した支援を行い、経営の安定化を図りました。										A地域内の農地面積	B機構による貸付面積	貸付率 (B/A)	地区名	常名	7,100	2,313	32.6	藤沢新田	2,100	563	26.8	その他	経営転換面積	－	162	－	借受農地の隣接地等	－	668	－			農地集積面積	3,706	
		A地域内の農地面積	B機構による貸付面積	貸付率 (B/A)																															
地区名	常名	7,100	2,313	32.6																															
	藤沢新田	2,100	563	26.8																															
その他	経営転換面積	－	162	－																															
	借受農地の隣接地等	－	668	－																															
		農地集積面積	3,706																																

款	農林水産業費	項	農地費			
事業名		土地改良区等指導育成事業				
施 策 の 大 綱		2－3 産業の振興を図り、活力とにぎわいのあるまちづくり				
施 策 名		4 安全な食料を供給する農林水産業の振興				
施 策 の 内 容		2 農業生産基盤の整備と保全				
H27決算額	17,614千円	財源内訳	国県支出金	地方債	その他	一般財源
			7,269千円			10,345千円

【事業の概要】

近年、食糧自給率の低下、農業者の高齢化、農地の減少、農村の活力低下等、農業を取り巻く環境は、大変厳しい状況にあります。このような状況の中で農業生産基盤の整備、農地等の環境保全に取り組み、効率的・安定的な農業構造の確立を図りました。

(1) 多面的機能支払交付金

- ① 農地維持支払 … 地域資源の基礎的保全活動、推進活動等
(菅谷地区、手野地区、木田余地区)
- ② 資源向上支払（共同活動）… 施設の軽微な補修、環境保全、多面的機能促進事業
(菅谷地区)
- ③ 資源向上支払（長寿命化）… 老朽化の進む農業施設の長寿命化を図る補修事業
(菅谷地区)

[平成27年度事業費]

負担金補助及び交付金 9,693千円

(2) 揚水事業…右廻揚水機場制御盤更新工事の実施

[平成27年度事業費]

負担金補助及び交付金 2,656千円

(3) 土地改良事業…団体（土地改良区、農家組合、水利組合）が実施する土地改良事業に対し、事業費を補助します。（8団体10事業）

[平成27年度事業費]

負担金補助及び交付金 5,265千円



農地維持活動



右廻揚水機場制御盤

【事業の成果】

農業生産基盤の整備・保全に係る事業費を補助することで、老朽化が進む農業水利施設の長寿命化・保全管理等の安定化が図られました。

款	農林水産業費	項	農地費			
事業名	一般地帯土地改良事業（農道・かんがい排水事業）					
施策の大綱	2-3 産業の振興を図り、活力とにぎわいのあるまちづくり					
施策名	4 安全な食料を供給する農林水産業の振興					
施策の内容	2 農業生産基盤の整備と保全					
H27決算額	78,887千円	財源内訳	国県支出金 5,484千円	地方債 40,100千円	その他	一般財源 33,303千円

【事業の概要】

農業振興地域の農道及び水路の環境整備により、遊休農地の解消に努めるとともに、営農効率を高め農業経営の安定を図りました。

○農道整備

- ・農用地区域の道路延長 約357km
平成27年度までの整備延長 196.2km（約55%）

○かんがい排水整備

- ・農用地区域の排水路延長 約93km
平成27年度までの整備延長 19.0km（約20%）

（単位：千円）

区 分	事業費	概 要
需用費	1,401	排水路修繕等
委託料	20,191	測量、実施設計委託
工事請負費	56,157	手野谷原地区外
公有財産購入費	1,138	手野谷原地区
合 計	78,887	

- ・農道改良工 1地区 L=59m
（虫掛地区）

- ・農道舗装工 13地区 L=1,067m
（手野谷原地区、手野地区、今泉地区、小野地区、永井地区、田村地区、大志戸地区、菅谷地区、常名地区、栗野地区、本郷地区、大岩田地区、飯田地区）

- ・排水路整備工 5地区 L=837m
（手野地区、常名2期地区、田中地区、田中2期地区、田中3期地区）



農道改良箇所



農道舗装箇所



かんがい排水整備箇所

【事業の成果】

農地への大型機械の進入が可能になり、営農効率の向上に寄与するとともに、遊休農地の解消が図られました。

款	商工費	項	商工費								
事業名	プレミアム付商品券補助事業										
施 策 の 大 綱	2-3 産業の振興を図り、活力とにぎわいのあるまちづくり										
施 策 名	5 消費者ニーズに対応した商業の振興										
施 策 の 内 容	1 商店街活性化の推進										
H27決算額	128,117千円	財源内訳	<table> <tr> <td>国県支出金</td><td>地方債</td><td>その他</td><td>一般財源</td></tr> <tr> <td>128,117千円</td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>	国県支出金	地方債	その他	一般財源	128,117千円			
国県支出金	地方債	その他	一般財源								
128,117千円											

【事業の概要】

消費者の利便性向上を図るとともに、市外への消費流出防止や、市内商業の発展と振興を図ることを目的に、土浦商工会議所が主体となり発行した額面6億6千万円（2割のプレミアム分を含む。）の商品券を、国の平成26年度補正予算における臨時交付金を活用し、発行しました。

◎補助対象事業費内訳

商品券発行額 660,000千円（1,000円券12枚つづり×5万5千冊）
※1,000円券4枚は、大型店でも使用可能
プレミアム補填 110,000千円（プレミアム分2,000円×5万5千冊）
事 務 費 22,121千円（商品券印刷・広報PR等）

◎平成27年度実績

第1次 申込期間 平成27年 6月22日（月）～平成27年 7月 3日（金）
販売期間 平成27年 8月 7日（金）～平成27年 8月14日（金）
販売状況 20,868冊
第2次 販売期間 平成27年 9月 7日（月）
販売状況 18,447冊
第3次 販売期間 平成27年 9月 8日（火）～平成27年10月14日（水）
販売状況 15,685冊
取扱店 630店

〔決算額内訳〕

（単位：千円）

区 分	金 額	概 要
プレミアム補填分	109,691	プレミアム付商品券回収分に対するプレミアム補填分
事 務 費	18,426	商品券印刷・広報PR等
合 計	128,117	



チラシ



プレミアム付商品券



販売所及び加盟店用のぼり旗

【事業の成果】

土浦商工会議所が主体となり、平成18年度からプレミアム付商品券を年2回発行し、市民の市内での購買意欲の向上及び地域経済の活性化、市民生活の安定化に貢献してきました。

平成27年度の換金実績を見ると、経済の低迷や郊外大型店舗の出店が進む厳しい商業環境の中にあっても、個店での利用割合が80%、大型店での利用割合が20%と、市内の個店及び専門店での利用者が多く、市外への消費流出防止と市内での消費の拡大につながりました。

款	商工費	項	商工費			
事業名	企業誘致事業					
施 策 の 大 綱	2-3 産業の振興を図り、活力とにぎわいのあるまちづくり					
施 策 名	6 創造性と技術力のある工業の振興と企業誘致					
施 策 の 内 容	1 企業誘致の推進と優遇制度の充実					
H27決算額	80,505千円	財源内訳	国県支出金	地方債	その他	一般財源
						80,505千円

【事業の概要】

1 工業団地PR

市内の工業団地に企業の立地を促進し、工業の振興と雇用機会の拡大を図ることを目的として、茨城県が大都市にて開催する工業団地立地説明会等に参加し、市内工業団地のPRを実施しました。

- ・いばらき産業立地セミナーIN東京
開催日：平成27年10月28日（水） 参加企業：237企業 来場者数：503人
- ・いばらき産業立地セミナーIN大阪
開催日：平成28年2月9日（火） 参加企業：87企業 来場者数：133人

2 企業立地促進奨励金

市内4地区（東筑波新治工業団地、テクノパーク土浦北、土浦おおつ野ヒルズ、神立工業団地）又は、市街化区域内（土浦北IC、桜土浦IC周辺の指定路線区域を含む）に新增設する企業で、新增設に伴い市内に住所を有する者（市外からの転入を含む）を5人以上新規採用した企業に対して、奨励金として固定資産税相当額を3年間交付しています。

〔平成27年度奨励金交付実績〕

（単位：千円）

No.	企 業 名	金 額
1	(株)フルヤ金属	1,963
2	日立セメント(株)	34,759
3	三協フロンテア(株)	26,099
4	(株)精工	13,995
5	(株)ABC	3,581
合 計		80,397

〔市内工業団地分譲状況〕

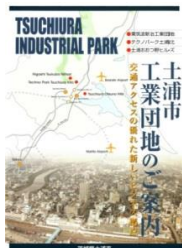
（単位：ha）

工業団地名	総 区 画	未 分 譲
土浦おおつ野ヒルズ	12区画（21.6）	4区画（11.0）

〔決算額内訳〕

（単位：千円）

区 分	金 額	概 要
企業立地促進奨励金	80,397	(株)フルヤ金属他4社
旅費等	108	産業立地セミナー参加
合 計	80,505	



企業誘致パンフレット



土浦おおつ野ヒルズ



産業立地セミナー

【事業の成果】

平成27年4月1日から、市街化区域内（土浦北IC、桜土浦IC周辺の指定路線区域を含む）に立地する場合においても、奨励金が支給できるよう制度を改正し、県外での産業立地セミナーへの参加等により、本市及び市内工業団地を広くPRすることができました。

款	商工費	項	商工費			
事業名	イルミネーション事業					
施 策 の 大 綱	2-3 産業の振興を図り、活力とにぎわいのあるまちづくり					
施 策 名	7 自然・歴史的資源を生かした観光の振興					
施 策 の 内 容	4 観光行事の充実					
H27決算額	12,997千円	財源内訳	国県支出金 7,997千円	地方債	その他	一般財源 5,000千円

【事業の概要】

土浦ウィンターフェスティバル実行委員会が実施している「土浦ウィンターフェスティバル」及び水郷桜イルミネーション推進委員会が実施している「光がつくる“Art”水郷桜イルミネーション」事業により、本市の玄関前である駅前及び霞ヶ浦総合公園にイルミネーションを設置し、冬の夜景を彩ることで、にぎわいの創出とともに本市のイメージアップを図ります。

◎霞ヶ浦観光にぎわい事業

主催：光がつくる“Art”水郷桜イルミネーション推進委員会
内容：オランダ型風車を中心に装飾を実施
期間：平成27年11月24日(火)～平成28年2月14日(日)

(単位：千円)

区分	決算額	概 要
補助金	10,000	風車等イルミネーションの設置及び仮設電源工事

◎市庁舎イルミネーション事業

内容：うらら広場に装飾を実施
期間：平成27年11月21日(土)～平成28年2月28日(日)

(単位：千円)

区分	決算額	概 要
委託料	2,997	うらら広場等イルミネーション設置



霞ヶ浦観光にぎわい事業



市庁舎イルミネーション事業

【事業の成果】

霞ヶ浦総合公園の風車や広場、新市庁舎の大屋根を中心としたエリアにイルミネーションを装飾することで、昨年9月にオープンした新市庁舎開庁の記念事業にするとともに本市のイメージアップに貢献しました。

また、霞ヶ浦総合公園のイルミネーションは、多くのマスコミに取り上げられ大いににぎわいを見せました。

款	商工費	項	商工費				
事業名	花火大会事業						
施 策 の 大 綱	2-3 産業の振興を図り、活力とにぎわいのあるまちづくり						
施 策 名	7 自然・歴史的資源を生かした観光の振興						
施 策 の 内 容	4 観光行事の充実						
H27決算額	73,282千円	財源内訳	国県支出金	地方債	その他	一般財源 73,282千円	

【事業の概要】

第84回土浦全国花火競技大会

期 日：平成27年10月3日（土）

場 所：桜川畔学園大橋下流付近

競技内容：スターマインの部 22台，10号玉の部 44発，創造花火の部 22組 合計88作品
（20都道府県57業者）で，花火の腕を競います。

大会提供花火：レクチャー花火

新市庁舎開庁記念オープニングスターマイン

ワイドスターマイン「土浦花火づくし」

エンディング花火

○ 花火大会事業補助金 73,282千円

内 係員時間外手当 2,528千円



大会提供ワイドスターマイン「土浦花火づくし」



内閣総理大臣賞

スターマイン・「野村花火工業(株)」

【事業の成果】

花火大会当日は，絶好の花火日和のもと，約75万人の観覧客数となりました。

今大会は競技花火のみならず，平成27年9月24日に土浦駅前にオープンした新市庁舎の開庁を記念してオープニングスターマインを打ち上げ，好評を頂きました。また，前大会から競技前に実施しているレクチャー花火やエンディング花火には7号玉84発を打ち上げ，大会全体の魅力化に努め，本市のイメージアップに寄与しました。

大会の様子は，JCOM茨城や茨城放送で生中継がされました。